



神奈鍼会報

第 165 号

令和元年9月27日発行

発行人 一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 会長 伊勢山 竹 雄 編集者 太田 修 二

〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町 2-55 ルリエ横浜宮川町 304

TEL.045-242-7790 FAX.045-242-7791 E-mail: kanasin@apricot.ocn.ne.jp

災害支援

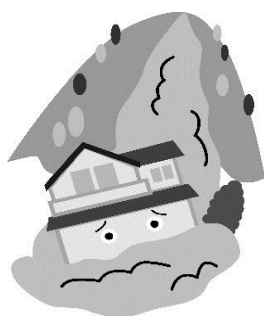
災害支援

災害支援

災害支援

災害支援

災害支援



西日本豪雨 広島県 災害支援



朝日山 一男
榎本 恭子

西日本豪雨で被害を受けた広島県の二か所の仮設住宅で、災害支援の鍼灸マッサージ・サロン活動を行った。8月18日は、呉市天応仮設団地談話室。8月25日は、安芸郡平成ガ浜仮設住宅。

一年経った今、被災地の現状は、ほとんどの家の解体が終わり更地になっていた。数件の新築の家もみられたが、復興にはまだ時間がかかりそうだ。

呉の天応仮設住宅の被災者の方々は、8月に出られると伺っていたが、半分近くは残られるようだ。どうなるか不安だと口々に訴えかけられた。

8月18日は、広島県師会の山田会長と地元の先生3名、岡山県師会の吉田先生、榎本、朝日山で対応を行い、13名の施術を行い、サロン活動8名。また、今回は、四条畷大学の野口教授によるロボットでの癒し体験も行い、楽しい時間を過ごして頂けた。



ポッチャサロン活動

毎回訪れる際に、裏ボスという自らが被災者でありながら、ボランティア活動を続けてこられた松岡清晴様という方を中心に相変わらず話が弾み、多くの被災者の方と親交を深めることが出来た。

災害支援

災害支援

災害支援

災害支援

災害支援

災害支援



8月25日には、広島県師会の山田会長と地元の先生1名、福井の吉中会長および榎本、朝日山で対応を行い、施術者12名、サロン活動8名。先週訪れた天応仮設住宅から、裏ボスの松岡様が、安芸郡平成ガ浜仮設住宅へ、わざわざ呉名物「福住フライケーキ」を一人一人にお土産を持って来てくれた。安芸郡の方々にもこのお菓子は、有名で災害前は買いに行ったそう。そのまま、施術後にお菓子を御裾分けすると大変貴重な感想を聴くことが出来た。「お菓子を呉まで行くのも、食べることも贅沢なことだと我慢していたので、凄く嬉しい」、「ちょっと前なのに懐かしい味に感じる」、「1個を家族で分けて食べる」という方。「一人暮らしだからここで先生達と食べていく」という方。まだまだ、寄り添う支援が必要である。

今、日本財団が求める支援は「サロン活動」だ。今回もハーモニカ演奏・歌声喫茶・ゼンシン体操・ボッチャ体験を行った。サロン活動を行うことで、引きこもりを失くすこと、孤独死や生活不活発発病の予防、コミュニティーの構築など、幾重にも意味がある。なにより施術を行うことで、身体の変化や健康管理、傾聴するで、絆が生まれサロン活動が大きな意味を生む。しかし、これは、平時に行ってこそ、地域包括ケアシステムの一員として、健康指南役としての一役を担えと考える。今こそ、【つなぐ】が私達の使命と感じる活動だった。

日本財団の支援が9月で切れるため、9月15日が他県からの最後の支援になるが、地元の先生へのバトンタッチが出来ることが理想だが、地元県師会の先生が少なく厳しい状況である。神奈川で発災した場合も他人事でないことを痛感した次第である。

今後、各師会の災害リーダー育成を急ぐ必要があると考える。



天応仮設住宅での施術



南三陸支援活動報告

朝日山 一男

榎本 恭子



3月17日（日）及び3月24日（日）南三陸の復興住宅に支援活動を行ってきた。この支援は、四条畷大学の野口裕美教授、朝日山が JR 西日本の支援を受け神奈鉦の活動と合わせ実施する運びとなった。宿泊はいつも協力いただいている亘理町の嶋原様のお宅を利用させていただき、南三陸のコーディネートは東北ファミリアの鈴木隆則様で、復興住宅に案内頂いた。

17日は、荒川先生、広瀬先生、田中先生、佐藤先生、野口先生で17名の方の施術を行った。

24日は、沢田先生、田原先生、生村先生、三鍋先生、山下克先生（東京都師会）、榎本先生、朝日山、朝日山（学生）、野口先生および二宮ジョイフルハモニカ4名で、11名の施術とサロン活動2名の参加があった。

復興住宅は、山の上にあり、買い物は車が運転できる人をお願いするか、移動販売による方法しかなく、仕事に出ない限り、家に引きこもりがちだとのことだった。前回お邪魔したときは、皆さんで卓球をされたり、お茶会や体操をするなど、結構顔を合わせていたが、仕事に出られるようになってから、お互いの付き合いができなくなったとのことだった。24日の日も、今日は丁度海に出られる日で、鍼マッサージに来たかったけど来られないとのことだった。ハモニカによるサロン活動、ロボットまた犬を連れてのセラピー活動など多彩な活動ができた。



まだまだ大変ですね…

復興住宅で私たちの活動は終わりと思っていたが、新たな視点で、復興住宅においても支援活動が必要で、ゆくゆくはサロン活動を通じて自力で活動ができる方向への支援の必要性を感じた。



第46回神奈川県鍼灸マッサージ師会 学 術 大 会

令和元年 7 月 28 日(日) 横浜市技能文化会館 8F

谷口学術委員報告

第 1 部 10:00~12:10

演題:「頸腕痛の診方と治療実技」

講師:湘南慶育病院 鍼灸科部長

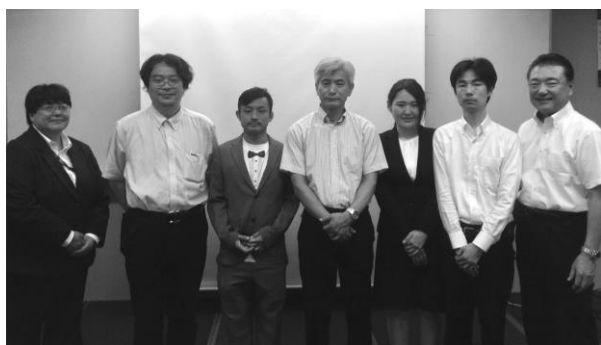
慶應義塾大学医学部

漢方医学センター非常勤講師

鳥海 春樹先生

鍼灸で扱える症状と医師に送る症状との鑑別診断:両側性の痛み痺れ・夜間痛の出る症状は医師に送る。

理論的説明後、実技:小川学術部長がモデルとなる。頸部の観察指導。列缺(大腸経寄り)、背部への深鍼、後頸部への横刺等。意外と強刺激と思える刺鍼法の多いのが印象的であった。学術部長が楽になったとの事で結果は良好と推察される。



第 2 部 13:15~15:30

「会員発表」

第 1 ブロック(川崎市会) 榎本恭子先生

「医療携による婦人科領域の鍼灸施術の効果について」

高齢出産(初産35歳以上)の臨床例:第一子不妊治療で出産、第2子を鍼灸により自然妊娠・自然分娩により出産出来た経緯の報告。

第 2 ブロック(浜鍼師会) 谷口修一先生

「頸椎症へのアプローチ」

自身の体験から頸椎の重要性を知り、矯正法に頼らず手足の特定部位で頸椎を整え関連する諸症状を治療する手法について報告(図面発表)。

第 3 ブロック(横須賀三浦師会)

石井利明先生

「養生訓の普遍性について」

江戸時代の健康ブームの代表と言える、貝原益軒の養生訓8巻を読み解き、項目ご



との要旨を纏められた努力を評価したい。
灸の普及にも関与か？

第4ブロック(藤沢師会) 藤村明日香先生 「タコ・魚の目・イボの灸治療」

灸療法の実例を挙げ、方法とその経過を
発表された。注意点も参考になる。

第5ブロック(小田原師会) 渡辺明伸先生 「プロ格闘家が実践している健康的なウェ イトコントロール」

近年高まる肥満・下腿中に対し、修斗の
プロとして自身で実践されてきたパフォー
マンスを落とさず減量する方法を指導の立
場で報告された。

【鳥海先生の講評】

神奈鍼師会での学術発表をこの様な形で
行われていることを高評価。

第3部 15:30~16:50

スポーツ研修会

演題:「2020年東京大会 そして
ねんりんピック に向けて」

講師: 朝日山 一男先生

- ・1年後に迫った東京大会、晴海・大磯・
伊豆の選手村、ポリクリニックでの施術
実施の参加者選考中。セラピー活動22の
経験を活かし準備。

- ・翌年2021年には神奈川県で「ねんりん
ピック」を控える。施術力・運営力を駆
使し営力を駆使し準備。

- ・セラピー活動の柱 ①スポーツ、②介護
予防、③災害支援

- ・全国大会として国体・インターハイ・ねん
りんピックがある。全てフィールド活動の
延長上にあり日頃の訓練が欠かせない。

- ・現場での心構え ①チーム医療の一環と
して参加、②応急処置に留める、③全て
選手の為、④大会関係者に場を提供して
戴いているとの感謝の気持ちを忘れない。

- ・介護予防の新たな試み 健康講和・体操・
ボッチャ体験・ひきこもり、発達障害者
の参加募りきっかけづくり。

- ・避難所・仮設住宅・復興住宅の共通の問
題点 ①生活不活発病、②コミュニティ
形成の困難、③ひきこもり

- ・サロン活動の重要性 (みんなの集まる場
所の提供)

- ・健康講和・ゼンシン体操・歌声喫茶・ボッ
チャの体験

- ・神奈川県と災害協定締結

- ・災害地での活動は平時の地域包括ケアシ
ステムと結びつく

- ・災害に備える食料 (4~5日分準備)

- ・水の確保 (20×6本) × 5箱

- ・缶詰め、レトルト食品

以上の様に今後の注意点、取り組み方に
ついて語られた。

川崎師会
研修 450 回記念講演会
のお知らせ

オリンピックによる 走り方教室とスポーツ講習会 ～未来を担うスポーツ選手の育成～

来る2020年1月12日（日）にオリンピック男子400m日本記録保持者高野進氏をお迎えして、記念基調講演会を市民・県民公開講座として開催させていただきます。

本年（一社）川崎市鍼灸マッサージ師会は、研修会開催450回を迎えることが出来ました。

この度、記念行事として、行政の協力のもと川崎市教育委員会が企画・運営に携わっていただき開催することができました。2020東京大会の先駆を切る内容となっておりますので、講演会への参加者及び当日お手伝いをして頂ける先生方も募集させていただきます。

参加ご希望の先生方は、お手数をお掛け致しますが、川崎師会事務所又は榎本までご連絡頂きたいお願い申し上げます。

記

日 時：2020年1月12日（日）10：00～16：30

場 所：第1部 川崎市高津中学校 第2・3部 ホテルK S P

講演内容：第1部 オリンピアンによる走り方教室とスポーツ講習会
～未来を担うスポーツ選手の育成～

第2部 はりマッサージ体験会

第3部 オリンピアンによるアドバイス
～競技力向上の為にコンディショニング～

講 師：東海大学教授・東海大学陸上部監督
男子400m日本記録保持者 高野 進 氏
女子100m元日本記録保持者・世界陸上出場 高野香織 氏

申 込：申込用紙があります。
川崎師会事務所 044-741-2345（月・水・金 13時～17時）
又は、榎本 090-8086-3000 まで。

申込期限：11月15日必着

第4回関東さわやかボッチャ大会 ケアブース参加報告

川崎師会 横井 ひかり

令和元年9月7日・8日の2日間にわたり、横浜ラポールにて第4回さわやかボッチャ大会が開催されました。8日は台風前の影響で一時天候の乱れがありましたが、往路復路には恵まれ、大会にも影響なく行われました。私たち神奈川ボッチャ協会競技局ケア部（以下ケア部）は協力団体として参加、初日は8名の先生方で審判関連全般の協力を、2日目は鍼灸マッサージブースを設けて15名の先生方で施術をさせていただきました。



打ち合わせケアブース

初日はレクの部で、初心者の方や重度障害を持った方でも楽しめる様にルール等の工夫がされています。参加者は27チームの約80名の選手、他に家族や応援者と多くの方が集まりました。選手と一緒に楽しむかの様に、観客も投球の度にリアクションで賑わい、館内は一日中歓喜に沸いていました。ケア部ではコート作りの準備から試合では審判員、タイムキーパーや得点係、そして翌日の準備など、一日運営の協力をさせていただきました。



大会風景

2日目は一般の部で、ここではこの競技に本腰を入れている方や日本ボッチャ協会の強化選手に選ばれるような方も参加されます。穏やかなにぎわいに、試合に臨む選手の心のクールさも含まれた、初日のレクとはまた違う雰囲気を味わいました。参加者は20チームの約70名の選手、他に家族や応援者と、2日目も多くの方が集まりました。

ケア部では設けた鍼灸マッサージブースにて、施術32名（うち鍼も併用6名）の選手・大会関係者の方々に体験をして頂くことができました。今回は体験していただいた方の15.6%が小児で、これは大人（親）が鍼灸マッサージの関心あってこそその指数でもあり、認知度の前進を感じた一つでした。

また、開会式と昼食時には、特定非営利活動法人打鼓音による和太鼓の演奏やNPO法人スッピツェンパフォーマンスによるチアリーディングの演舞がありました。老若男女と幅広い世代の参加者は、心に響く素晴らしいこの演奏・演舞に感動の拍手喝采を送り、大会がより一層盛り上がった印象を受けました。

このように、多くの協力によって、その空間にいる人間の意識が前向きに働く感覚を、私は肌で感じることができました。そして、この意味のある時間を、参加者・大会関係者と大いに共有できたことに感謝しています。

最後に、今回ご尽力頂きました先生方、大変お疲れさまでした。

組織部・青年女性部より ●●●●●●●●●●

3 団体合同納涼会

組織部・青年女性部主催の3団体合同納涼会。
今年は5年ぶりとなりました！マリンシャトル
（横浜港クルージング&ディナー）です。お食事を
頂きながら、みなとみらい～ベイブリッジ～工
場地帯の夜景を楽しみました。

多くのスポンサー様から提供された豪華景品が
多数あり。抽選会は大いに盛り上がりました。

【参加者】カナシン関係者：165名
神鍼会：10名 日マ会：5名

*抽選会で富士急ハイランドのペアチケットが当

った方！当日お渡した名刺まで連絡ください。後、1名の方から連絡頂けておりません。
抽選日から1週間以内に連絡ください。その様にお伝えしましたが未だ連絡頂けており
ません。有効期限もございます。10月末までお待ちします。よろしくお願い致します。



マリンシャトルからの夜景です

福利厚生部より ●●●●●●●●●●

義援金募金について

先月8月28日より九州を襲った大雨による被害は今後も拡大の可能性があり、
特に記録的な大雨で大きな被害を出した佐賀県大町町では洪水やばた山崩落等、更
に工場より油の流失で家屋や農作物に甚大な被害となり復旧には数年かかると言
われており先日政府より激甚災害の指定を受けました。

今回も神奈鍼会員の皆様による心からのご支援をお願い申し上げます。

募金は下記の口座にお振込ください。

尚、振り込み受付期間は令和元年10月31日となります。

記

ゆうちょ払い込み口座 00230-5-130562

一般社団法人神奈川県鍼灸マッサージ師会